

## 平成26年度における県の主な取組状況

担当課 がん・生活習慣病対策課

事業名	健康あおもり21ステップアップ県民運動推進事業 ～健康あおもり21ステップアップ県民大会
趣旨	県民健康づくりの指針となる「健康あおもり21（第2次）」の推進に向けて、県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康関連団体等だけでなく、県民向けに生活習慣病予防を始めとした健康情報の発信等を行い、県民の健やか力の向上を図る。
主な取組	県民大会において、大会参加者が「健やか力」を身につけることで今後の行動変容につながるよう、体験・展示コーナーに健康づくりに関する関係団体が出展するブースを活用し、健やか力クイズポイント（成人の1日の野菜摂取量、成人の1日の食塩摂取量目標値、肥満度、口腔内の菌、家庭血圧）を設け、クイズラリーを実施した。 また、青森県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、野菜を多く使ったバランスのよい食事及び減塩味噌汁の試食提供を行い、正しい食生活の普及・啓発を図った。
今後の取組方向	関係団体と連携し、県民の健やか力向上の推進を図る。

事業名	健康あおもり21ステップアップ県民運動推進事業 ～若年者の食生活改善モデル事業
趣旨	本県の生活習慣病による死亡割合の全国比較が40歳代からその差が顕著となることから、もっと若い世代からの対策が必要となってくる。平成22年度県民健康・栄養調査結果では20～50歳代男性の肥満率は全国より高く、女性については年代があがるごとに肥満率が増加してきているが、若い世代の食習慣や生活習慣の実態把握が十分ではないため、若年者の食習慣や生活習慣の実態を調査し、今後の施策へ反映させる。
主な取組	青森県立保健大学へ委託し、県内の20～30歳代前半の女性を対象として調査を実施した。 調査結果をもとにして、青森県食生活改善推進員連絡協議会へ委託し、女性向けのメニュー集を作成中。メニュー集完成後は、調査協力事業所や市町村へ配布し、保健指導等へ活用してもらう。
今後の取組方向	地域及び職域における正しい食生活の普及・啓発のために、調理実習等でメニュー集の活用を図る。

事業名	学校給食県産食材消費拡大事業
趣 旨	学校給食における県産食材利用率向上のため、学校給食向け加工品の開発や、学校栄養士を対象に、地元産品への理解を深める講座等を実施した。
主 な 取 組	<p>(1) 学校給食向け加工品の開発支援</p> <p>学校給食用食材の中でも県産品利用率の低い水産加工品及び畜産加工品について、県産原料を使用した新たな加工品を開発するため、加工業者、流通業者、学校栄養士等による商品開発検討会議を開催</p> <p>&lt;開発した加工品&gt;</p> <p>水産加工品：するめいか生姜味噌焼、さけ生姜味噌焼、さけ香草焼、サバレモン煮、サバカレー煮、トビウオハンバーグ</p> <p>畜産加工品：チキン竜田、キャベツメンチ、シャモロックハンバーグ、シャモロック豆腐ハンバーグ、シャモロックミートボール、シャモロック餃子、シャモロック焼売、シャモロックチキンカツ</p> <p>(2) 給食関係者向け県産品講習会</p> <p>県産品の理解を深め、学校給食により多くの県産品を取り入れてもらうため、学校給食関係者を対象とした講習会を開催</p> <p>ア 地元産品理解度アップ講座</p> <p>期 日 平成 26 年 8 月 4 日</p> <p>場 所 八戸市、五戸町、おいらせ町、三沢市</p> <p>内 容 農業生産現場、農産加工施設の見学等</p> <p>参加者 三八、上北、下北地域の学校栄養士 29 名</p> <p>イ 調理講習会</p> <p>期 日：平成 27 年 2 月 27 日</p> <p>場 所：青森市</p> <p>内 容：県産食材を使用した調理の実習</p>
今後の取組方向	関係団体と連携し、県民の健やか力向上の推進を図る。

<p>事業名</p>	<p>味感を育む「だし活」事業</p>
<p>趣 旨</p>	<p>だしを活用した減塩の推進による健康寿命・平均寿命の延伸を目的に、青森県産の豊富な農林水産物を活用した使いやすい家庭及び給食向けのだし商品の開発と販売支援、子どもの頃から薄味の習慣を身に付けてもらうために保育所や学校給食等担当に対する普及啓発の実施、家庭での定着に向けた需要開拓と広報活動を実施した。</p>
<p>主な取組</p>	<p>(1) だし商品の開発と販売支援</p> <p>県内のだし素材や加工業者等の資源調査を行い、青森県らしいだし商品の基準を決める企画会議を開催し、資源調査で把握した業者等を対象に勉強会を実施。その中から、ワーキンググループを立ち上げた。現在、給食用6商品、小売用3商品を開発し、3月中旬の販売に向けて支援中。</p> <p>また、売れる商品とするために、共通名称を商標登録中である。</p> <p>(2) 給食等の担当に対する普及啓発の実施</p> <p>献立作成を行う栄養教諭や保育所栄養士、地域の行政栄養士等専門職を対象としたセミナーや、実際に給食調理を行う調理師を対象にだしの活用についての研修会を開催し、セミナー約120名、研修会約900名の参加があった。</p> <p>また、給食用だし活料理レシピ集を作成し、実際に各給食施設等でだしを活用したメニューが提供できるよう県内の給食施設・社員食堂等約1200カ所に配布した。</p> <p>(3) 需要開拓と広報活動</p> <p>だしの良さを理解してもらうために、県内約18ヶ所の量販店でだしの試飲会を開催するとともに、だしの活用に関するチラシを作成し配布した。また、小学校5年生の家庭科授業で使用できる資料を作成し、家庭へ持ち帰り、子どもから保護者への周知につなげた。</p> <p>この他に、給食だよりや市町村広報での掲載依頼を行い、市町村広報は、1月末現在16市町村で掲載されている</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>関係団体と連携し、県民の健やか力向上の推進を図る。</p>

事業名	野菜で健康大作戦事業
趣 旨	野菜の摂取量不足による栄養バランスの偏りが、全国一の短命県である要因の一つと考えられていることから、県の健康長寿県プロジェクトの一環として、野菜摂取に対する県民の意識を高め、栄養バランスの良い日本型食生活への見直しを図る。
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 野菜を食べようキャンペーンの展開（8月31日～11月30日） 県内の野菜の小売店や直売所（223店舗）の協力を得て、店頭で啓発活動</li> <li>2 野菜を食べよう推進大会の実施（8月31日、青森県立保健大学） 野菜と健康に関する講演や展示の実施</li> <li>3 食育や地産地消関連イベントなどでの野菜の摂取量アップの啓発</li> <li>4 元気な高齢者の食生活等元気の秘訣を調査</li> </ol>
今後の取組方向	野菜で健康大作戦協力店などと連携して、引き続き県民の意識啓発に取り組む。

事業名	あおもり食命人育成事業
趣 旨	食と健康に関する専門研修を実施し、研修で学んだ知識をもとにした健康的な料理を提供する「あおもり食命人」を育成することにより、健康的な食事を選択できる環境を整備する。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と健康に関する専門的な「あおもり食命人育成研修」を開催（2回、各2会場）し、安全・安心な旬の県産食材を生かしたバランスの良い健康に配慮した食事（＝「いのちを支える食」）を提供できる外食・中食事業者を「あおもり食命人」として172人を登録（平成27年1月現在）</li> <li>・「食フェア」の開催（2回）やシンポジウム、食のおはなし会（44回）の開催などによる食命人の取組や健康に配慮した食事について広く県民に周知</li> </ul>
今後の取組方向	「あおもり食命人」の組織を促し、自立した活動ができる体制づくりと、活動の成果をさらに高めるためのスキルアップに対する支援に取り組む。※「あおもり食命人自立活動支援事業」（H27～28）

事業名	地域循環型新規需要米利用拡大事業
趣 旨	米粉用米の安定生産のため、米粉加工業者と実需者のマッチングを進め、消費者へ米粉の機能性や商品等をPRし、米粉の地域内消費の促進に取り組む。
主な取組	①県内道の駅・米粉製造業者との協働による米粉利用拡大PR ・道の駅での米粉用PRイベントの開催（3回） ②米粉製造業者と実需者とのマッチングによる米粉の地域内消費の拡大 ・総合販売戦略課主催の農・商・エコラボ・マーケットで米粉PRブースを出展
今後の取組方向	

事業名	青森の豊かな海が創る「おさかな自慢」PR推進事業
趣 旨	おさかな自慢応援隊やおさかなキッズ等により地元から本県水産物の自慢情報の発信、PR活動、料理教室等を行い、本県水産物の消費拡大を図るものである。
主な取組	①おさかな自慢応援隊による誘致支援 首都圏において、青森県フェア等に参加しPR活動を行った。 ②おさかなキッズ育成 おさかな応援隊が講師となり料理教室を行った。 ③地域特産水産物情報収集・発信 新たな20魚種の情報を収集、取り纏めた。
今後の取組方向	平成26年度と同様の活動を実施し、本県水産物の消費拡大を図る。

事業名	漁業の担い手確保・育成事業
趣 旨	漁業の現場と連携し、小中学生を対象とした水産教育を行う事により、水産物や漁業に関する理解を深め、漁業の担い手の確保を図るものである。
主な取組	①小学生を対象に啓発体験学習の実施 各地でワカメ養殖体験やサケ放流などの水産教室やお料理教室を開催した。 ②水産教室用パンフレットの作成 青森県の水産物や漁業を紹介するパンフレットを作成した。
今後の取組方向	平成26年度と同様の活動を実施し、本県沿岸漁協のPRと水産業の普及啓発を推進する。

事業名	青森りんご食育パワーアップ推進事業
趣 旨	幼少期からのりんごを食べる習慣づくりの推進と県産りんごの消費拡大を図るため、これまで育成してきた食育講師である「青森りんごシニアマスター」や「青森りんごマスター」等を活用し、りんご食育活動をスムーズに進める体制の強化を図る。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟県青森りんごの会及び山口九州地区青森りんごの会を実践モデル地区とし、青森りんごシニアマスター等を中心としたりんご食育活動の体制づくりや親子に対するりんご食育の実践を行った。</li> <li>・ 県外2カ所で、青森県知事直伝！親子で学ぶアップルスクール（青森りんご出前授業）を実施し、知事自ら青森りんごのすばらしさを伝授した。</li> <li>・ 一般社団法人青森県りんご対策協議会と連携し、りんご食育活動で活用できる「青森りんご食育セット」を作成・配付した。</li> </ul>
今後の取組方向	来年度も引き続き、県内外での青森りんご食育活動の体制づくりを推進する。

事業名	子ども健康促進事業
趣 旨	肥満傾向児の出現率を低下させるため、学校・家庭・地域社会が連携し、児童生徒の運動量の増加、体力向上、食育の推進を図るとともに、保健体育・健康教育に関する教師の指導力の向上を図る。また、学校教育活動以外の場面で運動量の増加と家庭における食育の推進を図る。
主な取組	<p>食育に関連した取組として</p> <p>①あおもり型給食普及事業【スポーツ健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あおもり型給食（減塩、野菜摂取等）の開発・普及</li> <li>・ 小中学校教員を対象とする研修会・講習会の開催</li> <li>・ 普及用映像資料（DVD）制作</li> </ul> <p>②青森っ子健康サポート（SSS）事業【スポーツ健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校での取組</li> <li>・ 栄養管理システム開発</li> <li>・ 食育実践発表会</li> </ul> <p>③地域で進めるすくすく青森っ子育成事業【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食卓からヘルスアップセミナー開催</li> <li>・ 親子健康キャンプ</li> </ul>
今後の取組方向	継続

事業名	未来へつなぐ中南地域食と農を育む支援事業
趣 旨	農業者自らが若い世代や子どもたちに食や農の魅力を伝える実践活動を行うことで、中南地域における食育活動の活性化を図る。
主 な 取 組	<p>①正しい食と農の知識を持った農業者の育成・強化          開催日時：8月8日（参加者31名）          研修内容：地産地消や実践活動を発展させるためのネットワークづくり（事例紹介）</p> <p>②食と農を伝えるための実践活動の実施          ・わくわくアグリスクール in 中南の開催          生産組織：農事組合法人藤崎営農組合          実 施 先：藤崎町立常盤小学校第5学年47名とその保護者          実施内容：田植え作業体験（5月29日）          除草体験（7月1日）          稲刈り体験（9月22日）          収穫感謝祭（12月5日）</p> <p>・中南地域食育推進フォーラムの開催          開催日時：12月25日（参加者46名）          開催場所：藤崎町文化センター多目的ホール          開催内容：食育に関する講演、管内での取組に関する事例発表、各種展示等</p> <p>③食育推進団体に対するフォローアップ          市町村やJAと連携し、自主的な活動を円滑に進められるよう、情報提供や助言等を行った。</p>
今後の取組方向	今後も実践力の向上を図るため、平成27年度「攻めの農林水産業」推進中南地方本部の行動計画として、農業者の掘り起こしや育成に取り組むとともに、実践団体に対する支援や普及拡大活動を引き続き積極的に行う。

<p>事業名</p>	<p>下北地域健康なまちづくり事業（健康アップ体制推進事業）</p>
<p>趣旨</p>	<p>下北地域は県内でも平均寿命が短い市町村が多く、肥満者割合や喫煙率が高い、健診受診率が低いなどの課題が多いことから、健康意識の向上が課題となっている。</p> <p>特に肥満者割合は成人、児童・生徒共に高い状況にあり、児童・生徒の肥満傾向児の出現率は、すべての学年で他圏域を上回っている。これら下北地域の健康課題を改善するため、子どもの肥満予防を切り口とした取組を推進するとともに、地域住民の健康教養の向上及び、家庭・学校・企業・行政など地域一体となった健康づくりの気運醸成を図るための取組が重要である。</p>
<p>主な取組</p>	<p>下北地域健康アップフォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ保健所管内食生活改善推進員連絡協議会による野菜たっぷり減塩メニューの試食提供。</li> <li>・健康トークの内容に減塩についての情報を盛り込む。 市町村職員を対象としたメディコトリム</li> <li>・県病管理栄養士による栄養教育 サークル等育成事業</li> <li>・保育所、学校関係、職域関係等と連携し、健康教育への講師派遣を実施。 下北地域版「健やか力」向上啓発 DVD の配布及び活用状況の確認</li> <li>・家庭、学校、職場、地域みんなで野菜を食べることの大切さをまとめた DVD「来さ MY 健康！めざせ下北平均寿命アップ！～家族みんなで野菜を食べよう～」を管内学校、農協、漁協、商工会議所、商工会、PTA、医療機関、スーパー、市町村等へ配布し、活用を促すため活用状況の確認を行った。</li> </ul> <p>栄養・食生活 DVD の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育用の DVD の貸し出しを行った。</li> </ul> <p>小児肥満の原因を探るための地域ケアシステムの構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に子どもの体格や生活習慣の情報を収集・分析する体制の構築。</li> </ul>
<p>今後の取組方向</p>	<p>平成 27 年度も継続して事業を進めていく。</p>



事業名	農業者組織による食育の推進
趣旨	農業者組織等が、消費者交流をとおして、食育の推進を図る。
主な取組	<p>①農業者組織による食育の推進</p> <p>地産地消や食育への理解促進及び消費者と生産者の相互理解を深めることを目的に、むつ下北地区指導農業士会が消費者を対象に「下北アグリサポーターズクラブ」を組織し、農作業体験や地産地消料理教室を実施した。</p> <p>②直売所による消費者交流イベントをとおしての食育の推進</p> <p>生産者と消費者の交流による直売所の活性化を目的に、直売所「しもきた産直広場」（むつ市）ではイベントを開催し、消費者に対して、下北産農林水産物の旬・特徴・食べ方等を情報発信するとともに、郷土料理の実演をとおして、下北地域の食文化を伝えた。</p>
今後の取組方向	平成27年度から当部の新規事業として実施する予定の「下北産直『元気アップ』応援事業」において、地産地消等をより進めるため、消費者向けセミナーや直売所スタンプラリーを開催することとしている。